

令和元年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	愛川聖苑業務管理経費・愛川聖苑施設維持管理経費				
担当課	住民課	課長名	阿部 昌弘		
事業の目的と実施内容					
目的	愛川町内外の御遺体の火葬等を滞りなく、厳粛に行うために利用者や周辺環境に配慮した施設の運営管理を行う。				
内容・方法	火葬炉・式場・霊安室の管理、遺体の火葬、聖苑内外の管理・運営				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善	一次	改善	二次	—
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
所管課の方向性のとおり、受益者負担の適正化を図るべきである。			平成31年3月議会にて町内火葬炉使用料の有料化する条例改正が否決されていることを踏まえ、火葬に要する経費や最新の県内公設斎場の料金設定などを改めて考慮し、適切な時期に見直しを行いたい。		
町の最終方針					
改善	受益者負担の適正化に向け、引き続き火葬に要する経費や県内公設斎場の料金設定などを考慮し、適切な時期に見直しを行う。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期(期限)	具体的な改善等の内容			
町内火葬炉使用料の有料化する条例改正	令和2年3月議会	平成31年3月議会に提出したものと同様の条例改正案に加え、町民税非課税者については火葬炉使用料を全額免除とする条例施行規則の改正を行うもの。			
町内住民等への周知	令和2年9月	広報あいかわや町ホームページ、チラシ等により周知する。また、葬祭業者に対しても、チラシの配布等により周知する。			
条例施行	令和2年10月1日～	条例施行後も、周知を徹底するものとする。			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H30)	R1	R2	
愛川聖苑火葬炉の稼働実数	日	1095	1098	1095	
目標とする成果の設定理由	安定的に火葬炉が使用できること				
4 経費等の見込み					
		R1(決算見込)	R2	R3	
事業費(予算) 単位:千円		74,384	73,649	73,649	
概算職員数 単位:人		2	2	2	

